



# しゃきょう 2020年11月号181号 社協だより

●発行 社会福祉法人三宅島社会福祉協議会 〒100-1211 三宅島三宅村坪田 3053 電話 04994-8-5888

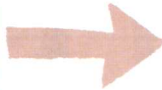


## 成年後見制度ってご存知ですか？

成年後見制度は手続きや財産管理、契約行為などに心配がある方を信頼できる方に「もう一人の本人」として「後見人（こうけんじん）」になってもらい、その「後見人」に生活を支えてもらう制度です。「後見人」は本人の利益を考えながら、契約や本人がした不利益な法律行為（悪徳商法の業者から高額商品を買うなど）をあとから取り消したりすることによって、権利や財産を保護し、本人が希望する生活をサポートすることができます。



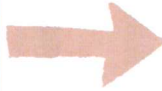
通帳や印鑑をなくしてしまうことが増えた。誰かに使われて預金をおろされてしまうのがとても怖い。最近、物忘れも増えてきたが相談できる人もまわりにおらず、今後だまされたりしないか心配…。サポートしてくれる人はいないから？



身近に任せられる人がいないため、後見相談窓口で相談した。後見人に預金通帳や様々な契約書の保管や、財産の管理をしてもらうことになった。だまされて何かの契約をしてしまったとしても、後見人が取り消してくれるので安心して生活ができています。

### こんな悩みを持っていた方が「成年後見制度」を使ったら…

ニュースで病院での保証人の話や孤独死の話を見て、近所に頼れる人がいないことが心配になった。将来、自分が認知症になった時には、誰が支えてくれるのだろうか。不安だなあ…。



後見相談窓口で相談してアドバイスをもらい、エンディングノートを作って、将来について考えた。いざというときは自分の子どもに頼りたいと思い、息子にも相談した。息子が任意後見になってくれた。



後見制度についてのご質問やお悩みなど、三宅島社協にお気軽にご相談ください！



10月27日～11月9日は読書週間です！



社協職員のおすすめの本を紹介します！

秋が深くなり、だんだんと冬の足音が聞こえ始める季節となりました。今年の秋は「読書の秋」にしてみませんか？コロナ禍の中、自宅で休日を過ごす時間が増えてきて以前より読書が身近になっているかもしれませんが、読書週間が始まっているということで11月号では事前に社協職員にアンケートを取り、おススメの本を紹介してもらいました！絵本、写真集、小説などなど…たくさんの本をおススメしてくれました！皆さんも気になる本があれば、是非読んでみてくださいね。

読書週間とは…終戦まもない1947年（昭和22）年、まだ戦火の傷痕が至るところに残っているなかで「読書の力によって、平和な文化国家を作ろう」という決意のもと、出版社・取次会社・書店と公共図書館、そして新聞・放送のマスコミ機関も加わって、昭和22年11月17日から、第1回『読書週間』が開催されました。翌年の第2回からは期間も10月27日～11月9日（文化の日を中心にした2週間）と定められ、この運動は全国に広がっていきました。そして『読書週間』は、日本の国民的行事として定着し、日本は世界有数の「本を読む国民の国」になりました。

葉っぱのフレディ

レオ・バスカーリア

-いのちの旅-

木の葉に焦点をあてた、命のはかなさについて教えてくれる本です。小学生の時に初めて読み初めて絵本で泣きました。今でも持っていて、疲れたなあと考えた時に読んで初心を思い出すようにしています。せつないけど心温まる絵本だと思います。もしかしたらご存知の方も多い作品ですが、歳を重ねても好きな絵本です。

福本有紀子

鏡の法則

野口嘉則

人生は自分の心を映し出す鏡であり、人生で起こるどんな問題も、何か大切なことを気づかせてくれるために起こります。この本は実話であり、この本を読むと心が洗われるような気持ちになります。

小室 美幸

蝸

横光利一

大正13年刊行の「日輪」に収録された、わずか10ページ足らずの掌編小説です。この作品に出会った時、こんなに映像的な小説があるのかと衝撃を受けました。作品と出会い20年以上経ちますが、何度読み返しても素晴らしい表現力に感嘆の声を上げてしまいます。新感覚派の彼が、いくつもの時代を超えて私たちに新感覚を感じさせてくれるような作品です。

石塚 未奈

セブンティウイザン

タイム涼介

70歳で妊娠出産し、子育てをしていく高齢夫婦の日常を描いた物語です。人生のゴールが近づいているご夫婦と子どもが待ち受ける未来を思うとせつなくなってしまうのですが、子どもに対する愛情と夫婦の絆で乗り越えていく姿にグッときました。

山本 朱菜

### ひさの星

斎藤隆介

「モチモチの木」などの創作絵本作家斎藤隆介の作品に岩崎ちひろが挿絵を担当した絵本です。幼い女の子のひさのととも切ない物語ですが、人の「幸（さいわい）」とは何かを深く考えさせられる話です。コロナ禍の今「利他の心」を持ち、生きていくことの大切さを改めて噛みしめています。声高に叫ぶのではなく、星のように黙って輝く優しさこそ本当の強さと作者は言っています。ちひろの絵がまたとてもすてきです！

斉藤 央

### 鬼平犯科帳

池波正太郎

約20年前になるか、通勤の電車の中で読んでいたと思います。20数巻あったと思いますが、中村吉右衛門さんが演じるテレビ放送を見たのをきっかけに原作を読んだように記憶しています。江戸の庶民の暮らしぶりや、悪党に対する厳しい取り締まり、時として人情味あふれる鬼平の裁きに、カッコ良さを感じました。自分の行き方とは全く違う存在で、憧れる人間像です。

早川 信

### そして誰も いなくなった

アガサ  
クリスティー

19世紀に出版されたミステリー小説です！孤島に招待された10人が次々に殺人鬼に襲われ追い込まれていく恐怖を描いた作品です。デスゲーム物の元祖ともいえる内容でミステリージャンルです！初めての方におススメです！

柳川 真広

### マンガでわかる うつ病のリアル

錦山まる

うつ病の人が多くなっている今、間違った知識も多く、知らないうちに友人を傷つけているかもしれない。これはマンガで大人から子どもまで読みやすく、4コマなのでわかりやすい。マンガの後には、解説も有る。1番いいのが作者本人のリアルの実体験。ネットでも話題なので1度は！

菊地佐和子

### 日々、これ口実

所ジョージ

高校生の頃に出会った本です。所ジョージさんの考え方、生き方、哲学が書き連ねてあります。『生まれたことがラッキー。楽しいことだけ考えよう。』何千何万の子種の中から幸運にも出てきた自分を振り返り、それだけで幸せなのだ、いつでも笑顔を絶やさない。怒った分悲しんだ分、憎んだ分は人生の長さからさっ引こう。これは長生きの敵となる。』このページ、ノートに書き写して大切にしていました。

窪田 清美

### AIRBORNE CATS

そらとぶねこ

junku

飼い猫5匹の写真集です。  
猫ならではの躍動感あふれるジャンプの写真に癒されています。  
猫の表情や、肉球にも注目です！

佐藤讀良々



ステキな本を紹介してくれた社協職員の皆さん、

ご協力本当にありがとうございました。





開所日時:月・水・木(10:00~15:00)

三宅村地域活動支援センター「いぶき」は障がいのある方の働く作業場と楽しく過ごせる場所です!

## 11月のいぶき活動

緑花活動 4・11・18・25日(全水曜日)

外出支援 19日(木曜日)



週一回、新型コロナウイルス感染症対策の為、坪田福社会館と神着老人福祉館、伊豆老人福祉館の消毒作業を行っています。初めは慣れない作業で戸惑っていましたが、今ではご本人自らマスクや手袋の準備を始め、担当場所を丁寧に消毒しています。

## ちけん通信

### Vol.19 成年後見制度を利用したいがどうしたら良いですか?

Q.

成年後見制度を利用したいが、ちけんの相談員が後見人になってくれるのですか?

そうだ!

社協の地権に

相談して

みよう!

地権担当のヤナガワです。ご相談ありがとうございます!ご自身の生活にかかわる後見制度、誰に後見人を任せれば将来の生活が安心できるか心配になりますよね。ちけんの専門員や支援員が後見人の立場でお手伝いすることは難しいですが、成年後見制度利用についての検討のお手伝いや信頼できる後見人候補者探しのお手伝いもさせていただきます!お気軽にご相談ください!



「地権(ちけん)」では、判断能力に心配がある方を対象として、福祉サービスの利用に関する相談に応じ、助言や情報提供を行う事で本人による選択や契約を支援する事業です。

上記のような心配ごとや不安ごとがございましたら三宅島社協地権担当:柳川(やながわ)【直通8-5883】まで!

## 寄付金のお知らせ

下記の方から三宅島社会福祉協議会へご寄付頂きましたのでご報告いたします。

津村 一さまより 亡叔母 壬生律子さまの香料より 組織運営事業のために

福祉振興のため、大切に使用させていただきます。ご厚志誠にありがとうございます。